

会計課 目標

【概要】

会計課は、会計課長を兼務する会計管理者と出納係3名で構成し、金銭・物品の出納、資金運用、県収入証紙の売り捌きなどを行なっています。

会計課の目標（令和2年度）	会計管理者 赤井 明浩
【基本方向】 職員の会計事務能力の向上を目指しながら、事務の見直しや効率化を進めます。また、公金の安全かつ確実な運用を行うとともに適正で円滑な資金管理を実施します。	
【達成すべき目標】 1 職員の会計事務能力の向上 庁内の職員研修を活用した、職員対象の事務研修会の開催、また、課職員全員が課内業務全般に精通するとともにそれぞれの職階に応じた問題の解決力を強化します。 2 会計事務の見直し 随時課内で検討の機会を設け、他市町村の事例などの聞き取りを行う中で、伝票審査を簡素化・要点化・省力化を行います。実施したものについては、マニュアルとして整理し、庁内研修会で活用します。 3 適正で円滑な出納 例年データの活用や庁内の情報提供を促すことでの的確な資金収支の見通しに努めます。合わせて金額の大きなものについては収入・支出を平準化させるため、収入・支出の時期や額について協議・調整を行います。	【目標の達成度】 1 職員の会計事務能力の向上 コロナ禍で例年実施している庁内研修はできなかったが、課職員全員がローテーションの実施により、業務全般に精通した対応ができ、問題の解決力も高まりました。 2 会計事務の見直し 他市との研修などもなくなってしまいましたが、伝票審査の簡素化・要点化等を常に意識し、問題が生じた場合は近隣市の伝票事務について聴取し、今後の事務の効率化に向け参考としました。また、マニュアルに追加し庁内研修会で活用します。 3 適正で円滑な出納 令和元年の災害による繰越事業も多く年度末の資金調達に苦慮したが、的確な資金収支の把握ができ、適正な管理が行えました。更に公金の安全性を確保しつつ、資金運用を行いました。